

事業名 <sup>ひたちな かこう</sup> 常陸那珂港 CALS モデル事業

港湾整備の施工管理部門に最新の情報技術を導入し、施工段階での工事情報授受の効率化・施工完了後の工事情報データの共有化を図った事業

受賞機関 運輸省第二港湾建設局鹿島港湾工事事務所

事業実施期間 平成10年5月14日～平成11年3月30日

事業費 3,952百万円

技術等の特徴と評価

港湾CALS業務システムの導入により、施工段階での発注者・受注者の工事情報のデータベース化、書類の整理・保管・書類様式の定型化等施工管理業務の改善について有効性が実証された点が評価できる。

事業の概要と効果

常陸那珂港におけるCALSモデル事業の位置づけは、港湾CALS構築に向け、施工管理部門にCALS業務システムの導入を図り、導入効果を実証並びに課題の抽出を目的とし実施している。

本モデル事業の実施により、CALSシステム導入の経緯を踏まえながら、以下の成果を得ることを目的としている。

- ・工事情報授受を電子化することの有効性の確認
- ・電子化運用システムの改善点の抽出
- ・電子化運用実施時の問題点の把握
- ・最終的な電子化運用システム開発
- ・本CALSモデル事業において、「コンピュータ技術の導入後」と「従来型の業務手法」とを比較することにより、以下の具体的事項が明確になる。

- 工事情報の共有化
- 工事情報伝達の省力化・迅速化
- 工事関係書類の決済経路を自動化
- 工事関係書類のペーパーレス化
- 工事関係書類様式の規格化

効果として、本モデル事業の実施環境は、現在施工中の港湾工事に適用しており、発注者・受注者双方がCALSシステムを利用するため、相互にユーザーとしての立場となり、相互の立場で導入効果をそれぞれ評価することにより検証できる。

事業実施効果の総合的評価に先立ち、初期目的とした

前述の5項目に対し十分な成果が得られた。

また、新たな活用方法を今後調査研究することにより、CALSシステムの更なる発展が期待される。



発注者 CALS システム画面  
(常陸那珂港管理センター)

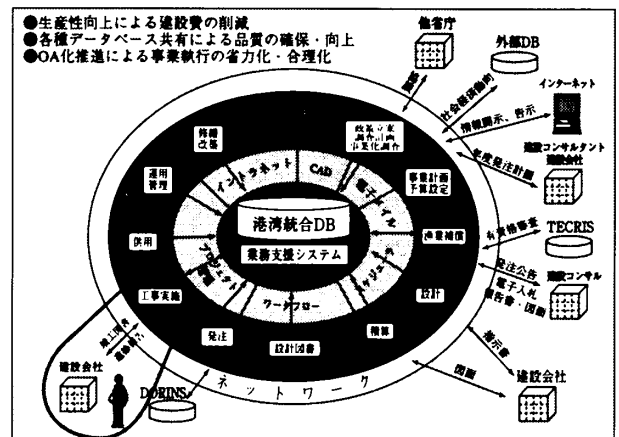


図-1 港湾 CALS のイメージ

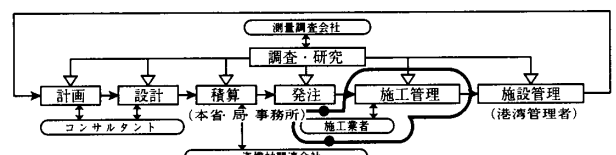


図-2 港湾整備事業のライフサイクル

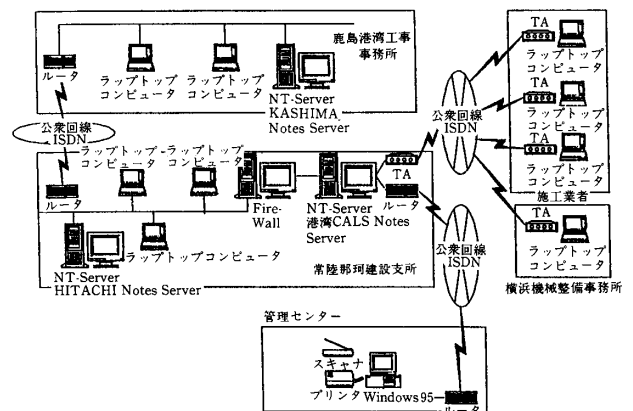


図-3 ネットワーク構成図